



NASUKARASUYAMA

議会だより

No.1
平成18年
2006

新春特別号

謹賀新年



第1回那須烏山マラソン大会

私たち那須烏山市議会議員は、公職選挙法を遵守し、
年末年始のごあいさつをご遠慮申し上げます。

議員は、選挙区内にある方に対し、答礼のための自筆によるものを除き
年賀状・暑中見舞状など時候のあいさつ状を出すことを禁止されています。
市民の皆様のご理解をお願いします。



議長
青木 一夫

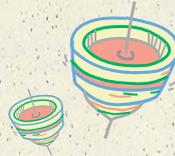
ごあいさつ

市民の皆様には、輝かしい新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年の秋、両町民の願望であった新市那須烏山市がめでたく誕生いたしました。これまでの皆様のご協力に対し、厚く感謝とお礼を申し上げます。

さて、新市になりましたが、すべてがバラ色になったわけではありません。むしろこれからの課題は、益々多様化複雑化しており、ひとつとして容易なものはありませんが、市議会といたしましても市民の皆様のご支援とご理解を得ながら、ご期待に添えるよう全力で頑張りつづけます。これから発展する街づくりは、行政と議会だけでは到底成し得ることはできません。地方の

時代といわれて久しいものがあります。が、地方分権は自己決定、自己責任が原則であり、ふるさとづくりは地域間の知恵くらべとも言われています。市民の皆様とともに英知を結集し、県の雄として自然と文化をいかした小さくとも光り輝く都市、那須烏山市づくりに邁進することを誓い、新年のごあいさつとします。



副議長
船山 栄一

平成十八年の年頭にあたり謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

新市誕生からはや四カ月、新しい時代の胎動の中、行政の円滑なる実施に

備え、本市の自主性、自立性の向上と共に生活者重視型の立場で行政の確立に、新たな活気の芽生える年になります。新たな活気の芽生える年になります。す様努力いたす所存であります。

全国的な新市町村の誕生のめまぐるしい対応の中で、那須烏山市の未来を築く羅針盤として、先人たちが守り継いできた地域に伝わる文化遺産を守り、

周囲を含めた総合的な文化的景観、里山保存等心豊かな街づくりに議会人として努力、推進に励みたいと思います。

夢、希望、期待が持てる郷土を、誰もが住み続けたいと思える郷土愛に根

ざした市政運営に方向づけをし、また、本年五月は改めて時代の流れを洞察される市民の期待に応える市政参加の年でもあります。

本年が皆様にとりまして明るく健康ですばらしい年となります様、心からお祝い申し上げます。新春の挨拶といたします。



高津戸 茂
(総務企画常任委員会)



沼田 邦彦
(総務企画常任委員会)



佐藤 昇市
(経済建設常任委員会)



五味淵 博
(文教福祉常任委員会)

※掲載は議席番号順





郡司 昭三
(総務企画常任委員会)



大野 嘩
(経済建設常任委員会)



佐藤 雄次郎
(文教福祉常任委員会)



高橋 安隆
(総務企画常任委員会)



塩谷 隆
(文教福祉常任委員会)



水上 正治
(文教福祉常任委員会)



五味淵 親勇
(文教福祉常任委員会)



高德 正治
(文教福祉常任委員会)



柴野 正巳
(総務企画常任委員会)



平塚 金平
(文教福祉常任委員会)



野木 勝
(経済建設常任委員会)



平山 進
(経済建設常任委員会)



斎藤 雄樹
(文教福祉常任委員会)



中山 五男
(総務企画常任委員会)



藤田 武
(総務企画常任委員会)



大橋 洋一
(経済建設常任委員会)





小堀 操
(文教福祉常任委員会)



高田 悦男
(総務企画常任委員会)



斎藤 文男
(経済建設常任委員会)



樋山 隆四郎
(経済建設常任委員会)



平塚 英教
(経済建設常任委員会)



小森 幸雄
(総務企画常任委員会)



玉造 三好
(経済建設常任委員会)



板橋 邦夫
(経済建設常任委員会)



永山 茂
(経済建設常任委員会)



滝田 志孝
(総務企画常任委員会)



森井 國廣
(総務企画常任委員会)

議会広報委員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
斎藤	塩谷	平山	船山	沼田	五味	高徳	佐藤
雄樹	隆	進	榮一	邦彦	博	正治	雄次郎



小池 清三
(文教福祉常任委員会)



菊池 俊夫
(文教福祉常任委員会)